

令和4年度 中部厚生センター運営協議会 議事録（要旨）

日時：令和4年10月26日(水)14:00～15:00

場所：上市町保健福祉総合センター2階研修室

1 開 会

委員25名のうち、本人18名、代理5名の合計23名出席

2 挨拶

津田康志 富山県新型コロナウイルス対策監・厚生部次長

3 会長の選出及び職務代理者の指名

会長に中川委員を選出

会長職務代理者に車谷委員を指名

4 議 事

中部厚生センターの事業について、配付資料に基づき説明

①厚生センターの事業概要について

②新型コロナウイルス感染症対策について

5 質疑応答

○新型コロナウイルス感染症対策について

【委 員】

9月下旬から感染の届出の簡素化が図られたが、厚生センターの業務量は大分減ったのか。

【事務局】

9月26日より全数の届出から、重症化リスクのある方に限定した届出に変更されたので、その点では厚生センターの作業量は減少した。ただし、大きな制度変更であったことから、医療機関等への周知と感染者数の全数把握については今でも気を配っている。報道等では、医療機関や保健所業務の逼迫を軽減するための見直しとされているが、ポイントは、重症化しやすい高齢者の方や基礎疾患を有する方に、しっかりと医療を届けるために必要な見直しが行われたということである。

【委 員】

歯科診療所の治療態勢がコロナ前と変わったところについて歯科医師会の会長にお伺いしたい。

【委 員】

従来から感染対策として手洗いや清掃等は徹底していたが、コロナが蔓延してからは、とりわけ換気を十分に行うようにしている。ウイルスを除去するような空気清浄機を設置するなど感染予防に気を使っている。

【委員】

新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンを同時に接種してもよいと聞いているが、どのように解釈すれば良いのか。

【事務局】

国の新型コロナワクチンQ&Aによれば、コロナワクチンはインフルエンザワクチンとの同時接種が可能である。新型コロナワクチンについては、今まで接種間隔を2週間あけることになっていたが、インフルエンザワクチンとコロナワクチンに限っては同時接種も含め、接種間隔は問わないこととなっている。

【委員】

新型コロナウイルスワクチンの接種を受け、3か月後に再び受けても良いと聞いたが、その解釈について教えてほしい。私は既に4回目を受けており、3か月経てば5回目を受けて良いのか。また、今ならオミクロン対応のワクチンの接種を受けられると思っているが、どうか。

【事務局】

3か月経過すれば5回目の接種を受けることができる。また、今ならオミクロン対応のワクチンの接種となる。

特に今冬については、新型コロナウイルスの感染拡大とインフルエンザの同時流行の可能性が指摘されている。それ故、ワクチン接種はタイミングを逃さずになるべく早く受けてもらうようお願いしたい。

【委員】

マスクの着用ルールについて確認したい。屋外では基本的に着用は不要だし、屋内でも会話がなない場合は不要となっている。ところが、ある居酒屋では密な環境で客も従業員もマスクをせず、飛沫が飛び交っていた。マスク着用ルールが守られていない。厚生センターとしてこれで良いと考えているのか。規制はできないのか。

【事務局】

社会経済活動の継続に向けた行動制限の緩和に伴い、飲食店での会食についても制限の緩和がなされてきた。しかし、基本的に感染するリスクは今も従来と変わっていないことを知っておいていただきたい。感染防止対策を今まで通り徹底していただきながら会食等をお願いしたい。

【委員】

結論とすれば飲食の時のマスク着用ルールはないということか。

【事務局】

飲食店でのマスク着用ルールは従来と変わってはいない。ただ、ご指摘のようにルールが守られていないということも聞いている。それについてはコロナ認証店というしくみがあり、ステッカーが貼ってある。そういう店については定期的に巡回指導することとなっており、そのような機会を捉えてしっかり指導してまいりたい。

【委員】

ぜひ指導をお願いしたい。次に食品衛生に関することについてお聞きしたい。たとえばファストフード店での手袋の使い方であるが、清潔、不潔の概念ができてなく食品衛生の教育を受けているのか危惧される。監視の際、手袋の使い方について教育をしていただきたい。飲食店の従業員、特にアルバイトも含め指導を徹底してもらいたい。

【事務局】

今ほどの話は、コロナ対応以前の食品衛生上の問題であり、指導を徹底してまいりたい。

6 閉 会